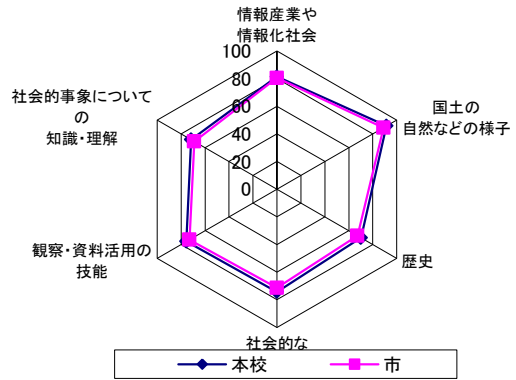


宇都宮市立今泉小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	情報産業や情報化社会	81.3	80.5
	国土の自然などの様子	91.5	89.0
	歴史	70.2	67.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	74.3	71.3
	観察・資料活用 of 技能	75.7	73.1
	社会的な事象についての知識・理解	71.5	69.0



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
情報産業や情報化社会	<p>・テレビ・新聞・ラジオの情報や私たちの身の回りの情報について出題されている。その中で、新聞による情報の特色を答える問題だけ、市の正答率をわずかに下回った。テレビはよく見るが、新聞やラジオはあまりを読んだり聞いたりしないという現実が背景にあると思われる。わたしたちが情報を得るときに気をつけることを答える問題では、正答率が91%と高かった。これは、情報化社会の現代において、児童が身をもって実感していることととらえることができる。</p>	<p>・今年度、小学生新聞を一定期間だけ送付してもらい、6年生全員が購読するという活動を行ったが、国語やその他の教科との関連を工夫しながら、今後もそのような活動を広げていきたい。また、インターネットなどこれからますます利用されることが予想される中で、重要になる情報教育モラルについては、特別活動などとタイアップして指導していく。</p>
国土の自然などの様子	<p>・森林についての問題と湖の汚染についての問題が出題されている。すべての問題において、市の正答率を上回っており、森林のはたらきを答える問題の正答率が80%である以外は、どれも正答率が90%を超えている。湖の汚染についての問題は、汚染の移り変わりや周りの土地利用の様子など、複数の資料を読み取って判断する力が必要とされていたが、正答率90%と高かった。</p>	<p>・森林の学習については、栃木県のパンフレットやDVD視聴などによって、できるだけ身近に感じられるように指導の工夫を図る。また、最新の資料を活用できるように努める。さらに、環境学習として、他教科との関連を図りながら指導に当たる。</p>
歴史	<p>・歴史の学習では、米作りが始まったころ(弥生時代)、武士の世の中(鎌倉時代)、天下統一と江戸幕府(安土桃山時代・江戸時代)の問題は、正答率が比較的高かった。藤原道長が活躍した頃の文化に係る写真、銀閣寺を建てた人物、浮世絵(言葉で書く)、自由民権運動と関係の深い資料、正倉院やペリーと関係の深い資料を答える問題で市の正答率を下回った。どちらかというと、近代に近づくにつれて、誤答が増えている傾向にある。しかし、キリスト教禁止の理由を文章で答える記述問題も60%の正答率で、市の正答率を上回った。</p>	<p>・歴史の学習では、絵や写真などの資料を多く活用して視覚的に理解させたり、DVD視聴を通して人物像やその時代の様子、流れなどをとらえられるように工夫する。また、単元の終わりに新聞にまとめるなどの活動を引き続き取り入れ、児童が興味を持って主体的に取り組めるようする。</p>